

基本事件 令和2年(ワ)第29号 損害賠償請求事件
 同第172号, 同第197号, 同第348号, 同第509号
 令和3年(ワ)第254号, 同263号 損害賠償請求事件


原告 入江 須美 外30名
 被告 国外2名

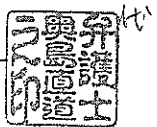
準備書面10


R4
 2022年4月25日


松山地方裁判所民事1部 御中

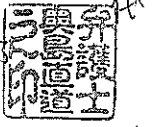
上記原告ら代理人 弁護士


奥島 直道 


同 草薙 順 


同 西嶋 吉光 

同 加納 雄二 

同 湯川 二郎 

同 八木 正雄 

同 山中 真人 

同 水野 泰孝 

弁護士奥島直道 復代理人

栗谷 しのぶ 

第1 西予市と大洲市に対する求釈明

1 西予市に対して

(1) 西予市は、2018年7月7日午前5時10分、西予市野村町の住民に避難指示を出しています。

① どこから入手したのか

② どのような資料に基づいて判断したのか

③ 午前5時10分の段階で、野村ダムから、何時頃に、どの程度の放流量になる可能性があるかと予想されていたのでしょうか。午前6時、午前6時30分、午前7時、午前7時30分のそれぞれについて予想していた放流量を回答ください。

④ また、午前5時10分の段階で、何時頃に、どの程度の浸水被害（浸水被害を受ける住宅の範囲）になる可能性があるかと予想されていたのでしょうか。午前6時、午前6時30分、午前7時、午前7時30分のそれぞれについて予想していた浸水被害浸水被害を受ける住宅の範囲）を回答ください。

(2) 2018年7月7日午前6時半に消防団に対して引き上げの連絡をしていますが、引き上げの連絡はどのような方法で現場にいる消防団員に伝えたのか、その方法をお教えください。

2 西予市と大洲市に対して

西予市と大洲市は、2018年7月7日午前3時から午前9時までの間、野村ダム及び鹿野川ダムの今後の放流量について注意していたと思われませんが、各ダム事務所からの電話やFAX以外に、どのような資料から今後の放流量を予想していたのか。その資料について教えてください。

以上